

# 人気のエアロスタイル

エクステリアのイメージを決定付ける上で、最も重要な役割を果たしているのがエアロバーツ。そのため購入時には、自分が理想とするスタイルをしっかりと見極めた上で購入するようにしたい。ファッションと同じく、時代によって流行のスタイルも変わる。そんな場合はエアロ加工や流用加工を取り入れ対応してやりたい。

## ▶バンパー流用



せっかく気に入ったエアロバーツが見つかったとしても、自分のクルマに設定されていない場合もある。そこで諦めてしまうのはちょっと早い。サイズや形状の似たクルマに設定されたエアロがあれば、それを流用加工することで、装着出来ることもあるのだ。

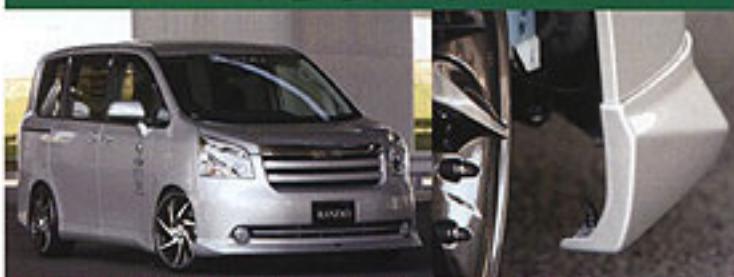
## ▶バンパニコイチ



ニコイチとは文字通り、2個を1個にすること。つまりエアロにおけるニコイチとは、2つのスパイラーを組み合わせ、1つのスパイラーを作り出すこと。他車種の

スパイラーで気に入った部分を、自分のクルマに取り入れる場合に使われる手法。市販されていない、完全にオリジナルのスパイラーを作り出すことが可能。

## ボディに穴開け加工がないエアロ



純正トヨタ「一体感」をテーマにノーマルバンパーでの物足りなさを補いつつも、エアロバーツの存在感は主張し、純正ピン共締め十周面テープでの「完全ボルトオン」設計として、新車への穴開け加工を必要としない直感的なアイテム。FRP製でありながらスパイラーの裏側に純正バンパーにピッタリと合うテープポイントを製作し、手軽にエアロを装着することが可能。

## ▶今、主流のスタイル



道路交通法の改正による規制強化や、ユーロやラグジュアリースタイルのブームとともに人気となっているのが、純正スパイラーのアンダーに追加するハーフタイプやリップタイプ。純正のスタイルを崩すことないシンプルなフォルムは、年齢層を問わず人気が高い。コストパフォーマンスにも優れ、さらにシンプルな分、飽きが来ることなく、長くそのスタイルを楽しむことが出来るというのも大きな理由。逆に従来のVIPユーザーには、フルバンパーがビタリとハマる。

## ▶エアロ加工最新事情

エアロを装着し時間が経った場合やドレスアップ上級者ともなると、エアロメーカーからリリースされるエアロそのままのフォルムでは、満足できなくなる。そこで登場するのがエアロ加工。独自のアイデアを取り入れることで、まさに自分だけのスタイルを作り出すことが出来



フロントバンパーの厚みを、延長加工によりさらに追求。進方向への延長と逆行方向への延長の複数あります。



バンパーの厚みを減らしてやる短縮加工。VIPスタイルからラグジーハーのスタイル変更に多いVカーブ。



他車種のスパイラー開口部を流用。独自のスタイルを作り出す手法。ドレスアップ上級者のテクニックである。



レクサスやマークXの開口部を流用。スパイラーアンダーに台口を埋め込んでしまうのがコレ。



上級者の前後バンパー部に設置される車間センサーのテストを取り入れ。高級感を打ち出すアイデア。



エアロに設定されているフォグランプではなく、他車種のフォグランプを使うこと。写真はベンツEクラス用。